

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-14317 (P2019-14317A)

【公開日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2017-131433 (P2017-131433)

【国際特許分類】

B 6 4 C 13/18 (2006.01)

B 6 4 C 39/02 (2006.01)

B 6 4 C 13/20 (2006.01)

G 0 8 G 5/00 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 13/18 D

B 6 4 C 13/18 C

B 6 4 C 39/02

B 6 4 C 13/20 Z

G 0 8 G 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 2 月 19 日 (2019.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無人航空機に搭載される飛行制御装置であって、

前記無人航空機の姿勢および / または飛行位置を検出する複数のセンサである飛行制御センサ群と、

前記飛行制御センサ群の検出値に基づいて前記無人航空機の飛行動作を制御する主制御部と、

前記主制御部とは別体の制御部であり、操縦者からの操縦信号を受信する受信器が出力する信号と同方式の信号である疑似信号を生成し、該疑似信号を前記主制御部に入力可能な副制御部と、

を備えることを特徴とする飛行制御装置。

【請求項 2】

前記副制御部は記憶部を有し、

前記記憶部には、前記疑似信号の経時的な生成パターンである疑似信号ルーチンが登録されていることを特徴とする請求項 1 に記載の飛行制御装置。

【請求項 3】

前記副制御部は、前記飛行制御センサ群の検出値に基づいて、前記疑似信号の生成内容を動的に変更可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の飛行制御装置。

【請求項 4】

前記主制御部および前記副制御部は、それぞれ別々の前記飛行制御センサ群を有していることを特徴とする請求項 3 に記載の飛行制御装置。

【請求項 5】

操縦者からの操縦信号を受信する受信器をさらに備え、

前記受信器は前記副制御部に接続されていることを特徴とする請求項 1 に記載の飛行制御装置。

【請求項 6】

操縦者からの操縦信号を受信する受信器をさらに備え、

前記副制御部は、前記受信器が出力する信号を記録するマクロ記録手段を有することを特徴とする請求項 2 に記載の飛行制御装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の飛行制御装置を備える無人航空機。